

一括質問方式（文責本人）

雇用者と求職者のミスマッチ解消策は

問.....
雇用者と求職者のミスマッチの解消策はあるか。働くことで人間形成に繋がると思われるが、小さいころからの働くことの位置づけ

答.....
や、人材育成が必要と考えるが解消策はあるか。
就職先決定前に高校生、大学生等を対象とした、企業の担当者との

面談する「とおの就職ガイダンス」や、高校2年生を対象に事業所見学会も実施している。3年間同じ事業所に勤務すると、継続勤務奨励金5万円の支給がある。小中学校では、勤労観や職業観を身に付け、経済的にも精神的にも自立できる能力を身に付けるためのキャリア教育として、工場見学や職場体験を実施している。

オートキャンプ場設置の考えは

問.....
観光客層の拡大を図るためにオートキャンプ場の設置を提案する。

答.....
車やオートバイを利用するアウトドア志向の観光客の受け入れにはかることは重要であると認識している。



オートキャンプ場を設置し、さらなる観光客層の拡大を

地域リーダー育成をどう考えるか

問.....
地域活動において格差があると思われるが、リーダーの育成、資質向上にどのように取り組むか。

答.....
地域活動専門員の配置による人材確保、人材育成が挙げられる。行政区や地区センター等のあり方を含め、人材育成についても、第二次進化まちづくり検証委員会で議論していただき、新たな仕組みづくりにつなげていく。

一括質問方式（文責本人）

豪雨による水害の防災・減災対策は

問.....
「災害対策基本法」の改正で、要援護者名簿の作成や個人情報情報の適正な取り扱いが、自治体に義務化された対応は。

答.....
これまでの水害対応を検証し、パトロール体制の強化、情報の交換と提供、関係機関の連絡事項の徹底等改善策を図った。また、今年度「遠野市防災マップ」を作り、更に書く自主防災組織管内の危険箇所等の総点検と自主防災組織相互の連携に繋がる地域防災マップ作りを進める。

将来的には、震災を風化させないための施設として、国土交通省など国の支援を受けながら「忘れない、忘れさせない」をコンセプトとした震災（後方支援活動）記念館的な建物の建設について検討したい。

情報ビジネス校の跡地利用を問う

問.....
歴史的災害の風化を防ぐため、後方支援の歴史を後世に残す記念碑の建設は。

問.....
長年の懸案である遠野高校情報ビジネス校跡地を日本文化、民族芸能等の拠点にしてはどうか。

問.....
農産物の販路拡大のため、海外市場販売と農産物開発（六次産業等）の推進や計画をすべきではないか。

答.....
国、県の動向を見ながら輸出の可能性を探っていく。



活用策が模索されている情報ビジネス校跡地

石橋 達八 議員
(無会派)

照井 文雄 議員
(清風会)